



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2020年6月号ブリテン 通算第108号



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: oikawa-seimitu35@kha.biglobe.ne.jp 書記 及川 浩美

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

2019—2020年度 主題 (Theme)

- 国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア) 主題「より良い明日のために今日を築く」
アジア会長 田中 博之 (東京多摩みなみ) 「アクション」
東日本区理事 山田敏明(十勝) 主題: 「勇氣ある変革 愛ある行動!」
北東部 部長 鈴木伊知郎 (宇都宮東) 『われら北東部、世界のワイズメンズと共に前へ進もう』
クラブ 会長 門脇秀知 「クラブの10年後を思い描こう」

今月の聖句

新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。

詩編98章1節

菅野 健

巻頭言

高篠伸子

年明け2月頃から新型コロナウイルスの脅威が日本に浸透し始めました。まるでSFの世界のようなクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の動向に固唾をのんで見守ったものでした。三密を避けるようという政府からの要請を待つまでもなく、人々は外出を避け送別会や謝恩会すらも自粛しました。書面による会議も増えて人と会う機会が極端に少なくなりました。買い物はネットで済ませ、顧客訪問以外にはほとんど外出しない3~4ヵ月を過ごしました。仕事がかどって良い面があったものの、どこか物足りなさも感じていました。他愛のないおしゃべりや交流が生活を潤していたのだと思います。「これまでに経験したことのない」という形容詞のつく事態にばかり遭遇しているような気がしますが、日常生活を大切に、ワイズメンズクラブが楽しくあるよう協力していきたいと思います。

2020～2021 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
副 会 長	多田 修	DBC	菅野 健	ブリテン	増山 和憲
書 記	門脇 秀知	DBC	村井 伸夫	ブリテン	門脇 秀知
会 計	松本 京子	ユース	佐藤 剛	直前会長	門脇 秀知
監 査	伊勢 文夫	ユース	清水川 洋	担当主事	増山 和憲
地域奉仕	阿部 松男	YMCA サービス	伊勢 文夫	100周年行事	加藤 研
地域奉仕	本野日出子	YMCA サービス	高篠 伸子	100周年行事	門脇 秀知
会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾		

6月第1例会報告							
在籍者	14名	出席者	9名	メイキャップ	0名	出席率	64%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	11,000円		

【6月第1例会 報告】

日 時：2020年6月17日（水） 18：45～20：00

場 所：仙台YMCA会館203号室

出席者：阿部、加藤、加藤メネット、門脇、菅野、佐藤健吾

多田、多田メネット、松本ウィメン、増山 計9名

新型コロナウイルスの影響で開催が延期されていたプロ野球が6月19日（月）に開幕し、Jリーグも7月4日に再開が決まり、好きな選手、応援しているチームに会えるのを待ちわびていた会員の方々もおられたらと思います。そんな当たり前の日常を取り戻しつつある中、本日9名が出席し例会を開催する事ができました。

今月の例会は司会が多田メン、企画は松本ウィメンが務めました。会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング、ワイズの信条、会長挨拶と進み、菅野メンの今月の聖句・感謝の祈りの後、全員で久しぶりの食事・歓談となりました。

歓談ではスティホーム中にどんな過ごし方をしたかまで話が尽きませんでした。ただ、仕事をされている多くの会員は大変なご苦労されている現状が報告されました。今回の企画はフリートークとし新型コロナに対して各自の対応やこれからの活動について多くの話題が出ました。その中で、今回のコロナ禍でYMCAの留学生たちがアルバイトを出来ず生活状態が悪化しているとの報告がありました。先月、4ワイズ連絡会議ではお米等を支給しましたが、ほかにも何か支援ができないかとの話があり、例えば留学生たちによる日本語の弁論大会を開き参加者に景品として支援をしてはどうかとの提案がありました。

今月の誕生祝いは門脇メン、清水川メン、布宮ウィメンの3名、ニコニコ献金は11,000円でした。最後に多田副会長の挨拶、門脇会長の点鐘で閉会としました。

（報告者：門脇）

【今期を振り返って】

今回3度目の会長職がまもなく終わるので、今期の事業報告書をまとめていたところ、前期の欄はそれなりに埋まりましたが、後期の欄は中止の文字や空欄が目立っていました。

前期は7月の仙台国際センターにおける第28回アジア太平洋地域大会と北東部部会開催で始まり、クラブ活動ではメネットさんたちのエプロンシアター製作・寄贈(富沢、YMCA 幼稚園)活動、伊勢メンによるYMCA 5施設(南大野田、西中田、加茂、富沢、旭ヶ丘)に対する巡回絵画展示活動、阿部メンによる空き缶回収のCS活動そしてYMCA 特別活動を行った。また、クラブ設立9年となり会則の改定の必要性が出た為、会則改定委員会を設け12月までの改定作業を行った。尚、新会則は7月より運用となります。例年のお泊り例会も11月29-30日に茂庭荘に集まり楽しいひと時を過ごすことが出来ました。12月のクリスマス例会とオークション大会には鈴木北東部部長にも参加していただき、売り上げはクラブ収入の一助となりました。

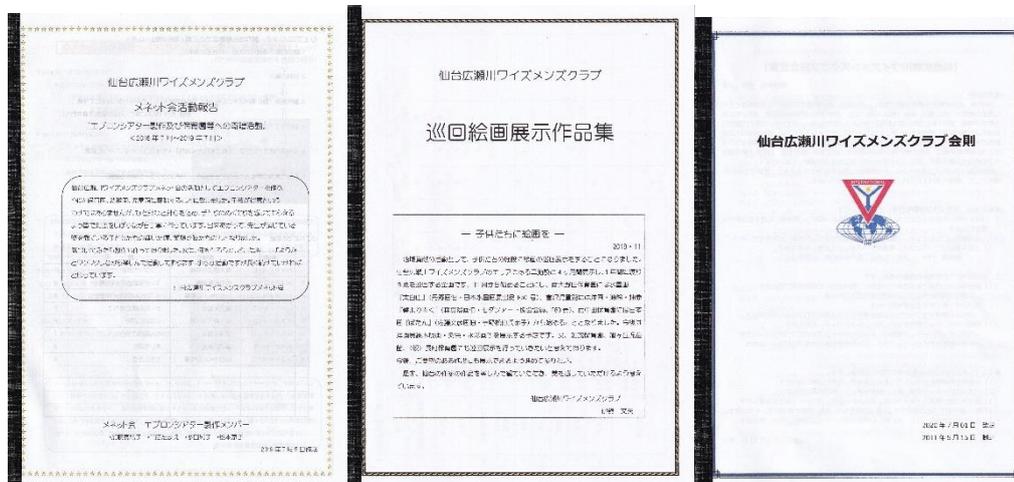
後期は新年移動例会で始まり、来期の会長に菅野メンを選出しました。2月例会は10月に続いて2度目のエプロンシアターの実演会を実施しました。しかし、このころから新型コロナウイルス感染が広がり、3、4、5月の例会が全て中止とせざるを得ませんでした。しかも、第23回東日本区大会(十勝)開催を中止にすると連絡があり、さらに北東部評議会も中止となりました。各地のクラブでも例会やイベントを中止にするとのメールが次々と配信されてきました。

このような中で、3月末に伊勢メンの巡回絵画展示活動、5月初めには4クラブ連絡会議のYMCA 留学生等への支援や職員への応援活動を行った。6月に入って感染状況が多少落ち着いてきましたので当クラブとして例会を開催することとしました。しかし、年間12回開催の例会が後期で3回も中止となり満足な活動ができませんでした。残念なこととしては6年間共に活動してきた及川浩美さん(6、7代会長)が6月末をもって退会されます。本当にお世話様でした。

これからは新型コロナとは付かず離れずの関係を保って活動をしていかなければなりません。来期は我がクラブ設立10周年目となり、また、4月から新たにYMCA 長町幼稚園が開園しました。仙台広瀬川ワイズメンズクラブのメンバーは菅野次期会長の下、“コロナ”に負けず体調を整えて共に活動していきましょう。1年間、皆様には何かと支えていただき3度目の会長職を無事務めることが出来ました。ありがとうございました。

2019 - 2020 年度会長 門脇秀知

▽下記にエプロンシアターの製作・寄贈及び巡回絵画展示の活動記録と新会則の小冊子を製作しましたので紹介します。



—主題—「励ましあって試練を乗り越えよう」

次期会長 菅野 健

1月末に次期会長のお話をいただきました。

東日本大震災から10年目となる年、何かお役に立ちたいとの思いでお引き受けしました。おそらく20年ぶりくらいのクラブ会長です。そして新型コロナ感染、クラブ例会は3月から5月まで中止、ワイズの活動もYMCAの活動も全てストップして6月を迎えています。

95年関西を襲った阪神大震災から25年、11年東北を襲った東日本大震災から10年、そして20年世界を襲っている新型コロナ。

コリントの信徒への手紙— 10章13節に

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずで、神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださいます。」とありますが25年間にこれほど大きな試練を次々と与えられるとはだれが予想できたでしょうか。そのような中で、次期ワイズでの活動を考えてみました。

第1は、「コンパクトな活動に心がけたい」ことです。YMCA活動も含めこれまでのように活動することには難しいこともあるでしょう。より大切なものから徐々に進めて行ければと願っています。

第2は、「例会が待ち遠しいワイズにする」ことです。3月以降、外出もままなりません。外食もままなりません。「今度の例会はいつだったかな」とワクワクしながらメン・ウィメンそしてメネットとの再会を期待するようなワイズにできればと願います。自粛が解禁されれば食事を共にする例会も積極的に取り入れます。

第3は、「力を抜いて無理なく気軽に」です。新型コロナで、仕事に生活に影響のない人はいません。会社を経営している方はことさら大変です。クラブから支援するのには無理がありますが、まずは生活第一、ワイズ活動は無理のない範囲で協力し合っていると願っています。

第4は、「東日本大震災10年目を迎えるにあたって」です。日本中から頂いたご支援に感謝する気持ちを表したいと考えています。

私たちは試練の度に励ましあって乗り越えて来ました。力強い輪を造って試練を乗り越えましょう。



【いちごワーク実施報告と7月活動】

2020年度最初の山元町いちごワークが6月14日（日）に行われました。26名の大人数でワークを行うことが出来ました。始めは初めての参加者ばかりで確認しながらの作業となりましたが、作業内容を理解してくると、作業に慣れてきたため、スピードが上がりました。

仙台広瀬川ワイズメンズクラブからは、阿部メン、佐藤健メン、村井メンが参加しました。例年通り次のシーズンに向けて土入れの作業でした。最後に、岩佐さんから今シーズン最後のイチゴを出していただき、みんなで美味しくいただきました。

【7月いちご農園ボランティア募集】

場 所： 山元町岩佐いちご農園

日 時： 2020年 7月5日（日）

9：00～15：00

集 合： 7：45（YMCA 立町会館）

解 散： 16：45（YMCA 立町会館）*予定

※現地集合・解散希望の方はご相談ください

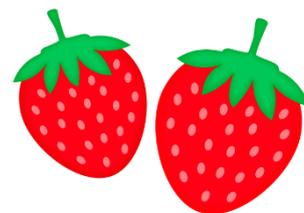
定 員： 20名 *定員になり次第締め切る可能性あり

持ち物： 弁当、水筒、タオル、軍手、マスク、その他必要と思われる物

内 容： 土入れ（予定）

保 険： YMCA でかけます

申 込： 担当の黒田さんか斎藤さん、増山までご連絡ください



【7月予定】

- ◆7月 1日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会
- ◆7月 5日（日） いちごワーク7月活動
- ◆7月 6日（月） 第1回チャリティゴルフ実行委員会 19：00～
- ◆7月 8日（水） 第1回バザー実行委員会 19：00～
- ◆7月15日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会

【仙台広瀬川ワイズメンズクラブ特別活動委員】

- ◆バザー 10月11日（日） 委員：松本ウィメン、多田メネット、加藤メネット
- ◆チャリティゴルフ 10月15日（木） 委員：清水川メン
- ◆YMCAクリスマス 12月 4日（金） 委員：松本ウィメン、多田メネット、加藤メネット
- ◆国際・地域協力募金 委員：阿部メン・高篠ウィメン
- ◆チャリティラン 日程は後日、決定 委員長：多田メン 委員：佐藤（剛）メン

【編集後記】

仙台YMCAでは、コロナウイルス感染予防をしながら、通常通りプログラムが始まりました。活気あるYMCAが少しずつ戻ってきています。やはり、子どもたちの声・笑顔は心の栄養だと感じています。

【K・M】